

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	歴史
科目基礎情報					
科目番号	0029		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	情報電子工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『詳説世界史B』 (山川出版社) / 『グローバルワイド最新世界史図表』 (第一学習社) / 『高校世界史基本用語問題集ツインズ・マスター』 (山川出版社) / 『日本史探求』 東京書籍				
担当教員	奥山 広規				
到達目標					
国際理解を深め、地球的視点で考える能力を身に付けるために、次の目標を目指します。 (1) 帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について理解できる。 (2) 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できる。 (3) 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を理解できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明できる。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を理解できる。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を理解できない。		
第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に説明できる。	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できる。	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できない。		
19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を理解できる。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 A 2					
教育方法等					
概要	国際化が進む中で、自国の歴史や文化を習得する必要性が高まっている。これからの国際社会で生きていく上で必要な教養として、日本の歴史について講義する。				
授業の進め方・方法	予習として教科書を事前に読んでおくこと。授業中はたくさん板書するので、自分で毎回きちんとノートを取ること。復習として『ワークノート』やプリントをしておくこと。課題の提出を求められた場合は、期日までに必ず提出すること。				
注意点	成績評価式: 4回の試験の平均点 (80%) + 課題点 (20%)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	オリエンテーション	日本の地理・日本史の時代区分	
		2週	国際環境の変化と明治維新	19世紀の日本	
		3週	国際環境の変化と明治維新	開国と倒幕	
		4週	国際環境の変化と明治維新	明治新政府の諸改革と社会の変化	
		5週	国際環境の変化と明治維新	明治初期の外交と反政府運動	
		6週	近代国家の成立と国際関係の推移	自由民権運動の展開	
		7週	近代国家の成立と国際関係の推移	立憲体制の成立	
	8週	中間試験	上記の内容から出題する		
	2ndQ	9週	前期中間試験の解答・解説	試験の解答と解説	
		10週	近代国家の成立と国際関係の推移	日清戦争と国際関係	
		11週	近代国家の成立と国際関係の推移	日露戦争前後の世界と日本	
		12週	近代国家の成立と国際関係の推移	日露戦争前後の世界と日本	
		13週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	帝国日本と第一次世界大戦	
		14週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	帝国日本と第一次世界大戦	
		15週	期末試験	10回~14回の内容から出題する	
16週		答案返却など	試験の解答と解説		
後期	3rdQ	1週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	政党政治と大衆文化	
		2週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	政党政治と大衆文化	
		3週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	軍国日本への通	
		4週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	軍国日本への通	
		5週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	太平洋戦争と日本	
		6週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	太平洋戦争と日本	
		7週	現代世界と日本	現代世界の開幕と日本の戦後改革	
		8週	中間試験	後期1回~7回の内容から出題する	
	4thQ	9週	後期中間試験の解答・解説	試験の解答と解説	
		10週	現代世界と日本	日本の再建と復興への通	

	11週	現代世界と日本	米ソ二極化構造の世界と国内の再編
	12週	現代世界と日本	高度経済成長の時代
	13週	現代世界と日本	低成長から経済大国へ
	14週	現代世界と日本	冷戦の終焉と日本
	15週	期末試験	後期9回～14回の内容から出題する
	16週	答案返却など	試験の解答と解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0